

世界遺産 富士山 構成資産

村山浅間神社

かつてここは、富士山修験の拠点として栄えた
富士山興法寺であった

富士山信仰の歴史が
今も、この地に引き継がれている





社務所

富士根本宮 村山浅間神社

富士山信仰と仏教

かつて人々は、噴火する富士山に怒る神の姿を重ね遠くから拜んでいました。

平安時代末期になると、富士山は仏(大日如来)であり、山頂に仏が神の姿となって現れると考えられるようになりました。これは、日本古来の神の信仰と仏教が結びついて生まれた「神仏習合」の思想によるものです。

富士山の噴火が収まると、しだいに、多くの修行僧が富士山の神力や霊力を得ようと富士山に登り、修行するようになります。これを修験といひ、修験をする修行僧を修験者といひます。

村山修験の祖

修験者の中で最も有名なのは、村山修験の祖と言われる末代上人です。

末代上人は、富士山に数百回も登頂したといわれています。

山頂に大日寺、村山に神仏習合の富士山興法寺を創建し、村山修験の基礎を築きました。

修験の拠点“村山”

鎌倉時代には、末代上人の意志を継ぐ修験者によって、富士山興法寺を拠点とした村山修験が盛んに行われました。

数百年の間、村山には、多くの修験者や登山者が訪れました。村山三坊(大鏡坊・池西坊・辻之坊)と呼ばれる立派な宿坊が建ち並び、東西の見付で集落への出入りを取り締まるなど、富士山興法寺を中心に修験の集落として栄えていました。

富士山興法寺

室町時代に描かれたとされる「絹本 著色富士曼荼羅図」の中央には、富士山興法寺を見ることができます。

この頃、富士山興法寺には、神を祀る浅間神社、仏を祀る大日堂、末代上人を祀る大棟梁権現社の3つのお堂がありました。



▲[絹本著色富士曼荼羅図]
(富士山本宮浅間大社所蔵)



▲富士山興法寺の中心には大日堂、左には浅間神社があり、登山の前に身を清める修験者と一般の登山者の姿が描かれています

村山浅間神社

明治時代の初めになると、神と仏を切り離す神仏分離令が出されました。

富士山興法寺もその影響を受けました。富士山興法寺は、「村山口登山道」の起点(根本)が由来となる富士根本宮村山浅間神社と大日堂に分けられました。

その後、寺や仏像を壊して退ける廃仏毀釈運動が激しくなると、仏教に関係するものは廃止されました。しかし、大日堂は幸いにも破壊を免れ、今も富士山興法寺大日堂として残っています。

大棟梁権現社は、「仏が神の姿となって現れる」という意味を持つ権現という名がつくため廃止されましたが、村山の人々は裏山を登った所に高嶺総鎮守社を創り、末代上人を村山の氏神として祀っています。



▲末代上人が祀られている高嶺総鎮守社

京都聖護院(本山修験宗総本山 聖護院門跡)

京都聖護院は、富士山興法寺の本山です。

今もその結びつきは強く、毎年、富士山開山祭などの行事には、京都聖護院の修験者が訪れ、村山の修験者と一緒に行っています。





富士山興法寺大日堂

護摩壇

水垢離場

富士山世界遺産ガイド
山本 哲さんに聞きました



富士山世界遺産ガイドが案内します
土・日・祝日:10:00~15:00



村山浅間神社の行事

7月10日
富士山開山祭・入山式



8月16日
富士根本宮村山浅間神社例大祭

9月第1日曜日
富士山閉山祭
富士山興法寺大日堂祭典

10月17日
高嶺総鎮守社祭典

12月31日~1月1日
富士根本宮村山浅間神社元旦祭

Q 修験者は何をする人なの？

A 仏の山である富士山の中に何日も籠り、厳しい修行を積んで心身を磨き鍛え、悟りを開きます。

富士山の持っている力(超自然的な力)を厳しい修行によって自分の中に取り入れ、その力を使って一般の民衆に家内安全・身体健康などの加持祈禱をしていました。

Q どんな儀式があるの？

A 富士山開山祭・入山式で行う水垢離と護摩焚きがあります。

水垢離は、富士山に入る前に山から湧き出る神聖な水で罪や汚れを洗い落とし、心身を清める作法です。



▲毎年、富士根北中学校の生徒が水垢離で身を清めます

護摩焚きは、護摩の煙が天上の仏に供物を運ぶため、私たちの切なる願いが仏の世界に届きますようにと、護摩木に願いを書いて焚き上げる神事です。



▲護摩焚きでは、心身を悩ませ苦しみを生む心の働き(煩惱)を薪として、焼き尽くします

神様になったお坊さん

By:Y.N



お問い合わせ
富士宮市役所
富士山世界遺産課
☎22-1489 FAX 22-1206



富士山世界遺産課公式Twitter

富士宮を歩く すてじかん。
~村山までの道者みちを歩こう~
動画はこちら→



